

地域要望などで意見交換

市内4地区で開催

移動行政懇話会

市では、北秋田市のまちづくりや行政課題などについて市民と語り合う移動行政懇話会を8月30日から9月2日にかけて4地区で開催し、新医療整備基本構想や周知事項などについてお知らせするとともに、市民からさまざまな意見や要望を伺いました。その概要をお知らせします。



▲ 4地区で開催された移動行政懇話会
(森吉地区会場)

4会場で約200人が
津谷市長らと意見交換

今年度の移動行政懇話会は、8月30日の鷹巣地区会場を皮切りに始まり、参加者が市長や市の担当者や新医療整備基本構想や地域要望などについて意見交換しました。懇話会は、市の現状や周知事項を説明するとともに、行政への意見・要望を伺う機会として毎年各地区で開催しているもので、4地区で市民約200人が参加しました。津谷市長は、市民意識調査や新医

療整備基本構想などを説明したうえで、合併から5年経過し、当時のからの課題の事務事業の統一、職員の削減など概ね順調に推移しているが新たな課題もあり、自助、共助、公助を基本とした課題の解決に向けこれからもよろしくお願いしたい。市の現状、抱えている問題を理解していただきながら皆さんのご意見や要望を踏まえながら一緒に住みよい北秋田市をつくっていききたいなどあいさつ。

市からの報告では、担当職員が、7月に実施した市民意識調査で446人から回答を得た結果について満足度や不満足度の多い分野などを説明しました。

新医療整備基本構想は、在宅医療体制を強化するため、地域医療連携センター(仮称)の設置や、地域完結型医療から、地域連携型医療への転換など、基本構想の概要を説明しました。

また、10月1日を基準に行われる国勢調査への協力依頼、住宅用火災警報器の設置促進について説明しました。

意見交換では、質疑を含め参加者から意見、要望が出されました。主な質問・意見とその回答は次のとおりです。

■鷹巣地区(8月30日)

旧北秋病院の跡地利用は総合計画を踏まえながら検討を。

人口の減少や商店街の衰退、大型店の関係など状況が変化してきているので、現実を見据えた跡地の利用を検討して行かなくてはならないと思っている。

市では医師不足に対して、どのような取り組みをしているか。

市単独では、限りがあるので、厚生連や大学、医療関係者、議員、市民の皆さんからご協力をいただきながら手分けして取り組んでいる。一度に10人も20人も医師を増やせる状況ではないので、いろんな方々からご協力いただきながら、真剣に地道に取り組んでいかなければならない。

米内沢病院に阿仁病院から派遣という形で看護師が勤務していたが、市民病院への派遣や採用について、市と厚生連はどういう関係で人材を選ぶことにしているのか。市民病院は、厚生連に指定管理で委託している。米内沢病院の縮小に伴う余剰人員を、看護師等をはじめとして採用してもらうようにお願いをしているが、厚生連としては看護師等を含めて公募しているので、試験に通った方を採用するということが、米内沢病院の

看護師等の優先的な採用には応じかねるということであった。派遣についても、厚生連に受け入れはできないかと話しているが、受け入れは難しいという状況。

自治医科大学出身の医師は、民間の厚生連が運営する市民病院にすることはできるのか。

市では県に、市民病院に対して自治医科大学出身の医師の派遣をしてほしいと継続的にお願いしているが、自治医大出身の医師を全県的に自治体病院へ派遣することは非常に難しい現状。

■森吉地区(8月31日)
地域医療連携センターは、どこに設置し、どのようなかで運営するのか。

市民病院内に設置し、運営については、厚生連を含めた医療機関や介護事業所、訪問看護ステーション等の関係者で運営協議会を立ち上げて協議していきたい。実施計画で具体的に示したい。

新医療整備基本構想で、実施計画の策定期間は、策定期間については、10月に県の協議会が予定されているので、そこに向けて策定したい。県との協議の結果、見直しの必要があると思うので、年内にはまとめた。

市の財政状況は。市債の額は増えているのか、減っているのか。

財政状況は、厳しい状況ではあるが、すぐに倒れる状況ではないので安心してもらいたい。

市債は、借金となるので、計画的に減らしていくよう進めている。森吉牧場から悪臭が発生している。以前から話しているが改善されていない。

これまでも、家畜保健所から臭いをなくするための指導を受けて進めてきているが、引き続き関係機関と協議し、臭いの軽減に努めていかなければならないと考えている。

各集落の防災無線は稼働しているのか、雨がたくさん降っても放送がない。

当該の防災無線は、大きな音量の雑音が入り、周囲の迷惑となるため稼働を止めている。修理をするよう進めている。

■合川地区(9月1日)
合川農村環境改善センターの使用料が外に比べ高い。統一的なものにしてもらえないか。

集会施設、公民館施設は使用料が違つという事で調整が済んだことになっている。冷房料が時間や半日設定など違つため検討して

みたい。

平成22年3月に米内沢病院が廃止されるが、療養病床はどうなるのか。

病院の解散後の療養病床については、北秋田市民病院を運営している厚生連と基本的に受け入れの合意はしている。どのような形で迎え入れるかは事務レベルで詰めているところ。

森吉山ダムが完成し、稼働するが上水道の見直しは。

ダムの水を活用し、上水道としては9500トンの計画で進めている。

市民の一体感を出す市民歌を制定できないか。

旧町の町民歌に愛着を持っている方もたくさんいると思うが、市として行事等に統一した市民歌も必要になってくるのではないかと。節目の時に市民歌を制定するものもひとつだが、音楽家が出ている地域でもあり検討させていただきたい。

■阿仁地区(9月2日)
8月13日、阿仁合駅前の火災について消防の対応の認識は。

初期、初動体制でしっかりとしたあり方、それから市民の方々が不安に思われるような状況があったとすれば、それは今回の反省点

としてしっかりこれから取り組んで行かなければならない。

体力増進に体育館へ職員を。

阿仁のスポーツ教室等については、体育指導員の協力を得るなどして行っている。職員がいなくていうことでなくスポーツ振興課で担当している。

ブナ帯キャンプ場の整備をお願いしたい。

宿泊棟は、昭和54年の建設で土台等がかなり腐っている状態で全部補修するとかかなりの経費がかかる。状態がいいもので補修が可能であれば、今後利活用に向けた利用状況が少なくなっている。現地を再度確認しながら検討したい。

訪問看護はどうなるのか。

阿仁診療所等の空き病棟を利用した所に訪問看護を設置したいと考えている。

荒瀬のしょうぶ園について今後どのようにしていくのか。

土壌がよくないということで客土の入れ替え、株分けが必要で3年ぐらいの計画で整備していくのは変わっていない。形態が変わるにしても継続していく方向で動いている。